

株式会社 Qoil、AVIOT の完全ワイヤレスイヤホン 「TE-Q3」デビュークリエイティブをトータルプロデュース

ターゲット層と製品特徴を結ぶコピー「小さくまとまって、何が悪い。」を軸に、
タイアップアーティストのイメージとの相乗効果を狙うクリエイティブを開発

株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、東京証券取引所グロース：3917、以下「アイリッジ」）の連結子会社でマーケティングに関するコミュニケーションデザイン事業を展開する株式会社 Qoil（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：小田 健太郎、以下「Qoil」）は、ワイヤレスオーディオ機器や IoT 関連商品の製造・輸入販売を行うプレシードジャパン株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：土山 裕和）が 2023 年 10 月 2 日に発売した「AVIOT」シリーズの完全ワイヤレスイヤホン「TE-Q3」のデビューにまつわるクリエイティブをトータルプロデュースしたことを発表します。

Qoil では 2022 年より「AVIOT」製品のクリエイティブパートナーとして数々のクリエイティブ制作に携わり続け、今回もキービジュアル開発、コピーライティング、LP（ランディングページ）や WEB ムービーの制作などをトータルでご支援しました。



TE-Q3 商品ページ : <https://aviot.jp/product/te-q3/>

▼WEB ムービー

15 秒 ver. : <https://youtu.be/Uck2rss7C5I>
60 秒 ver. : https://youtu.be/yHDEI_8JsHk
メイキング : <https://youtu.be/cn9S-YIEPhI>
インタビュー : https://youtu.be/kMdae7tG_Ls

クリエイティブ開発の背景・狙い

今回発売された「TE-Q3」は、機能・音質・デザイン性、全てを詰め込みながらも、圧倒的コストパフォーマンスと、業界最小クラス※1のチャージングケースを実現した完全ワイヤレスイヤホンです。

この製品を印象付けるコンセプトとして開発したコピーが「小さくまとまって何が悪い」です。

「小さくまとまる」はあまりポジティブに使われることのないワードですが、「でっかく」や「大志」を目指すことだけが本当に正解なのだろうか——多様性を尊重する本製品のターゲット層の価値観と小型ボディに多機能搭載といった製品特徴を結ぶコピーとして開発しました。本企画では、このメッセージを自分らしさ全開の旬なタイアップアーティストを起用したビジュアルと共に展開することで、共感による興味喚起と製品特徴の印象付けを狙いました。

「小さくまとまる」コンセプトを独特の世界観で直感的かつ印象的に表現するために、舞台セットまで徹底的にこだわりました。タイアップアーティスト自身が「本当にこんな部屋に住んでいそう……」と思わせる美術のクオリティの高さも注目です。



舞台演出設定資料

その他にも、メイキングやタイアップアーティストインタビューを含む WEB ムービーや、製品とアーティストのイメージを最大限活用した LP など、見どころが満載です。ぜひ AVIOT 公式サイトの商品ページにてご覧ください。

プロジェクトメンバー

プロデューサー＋クリエイティブディレクター＋アートディレクター：網田 圭祐

プランナー＋コピーライター：田中 優太

LP コーディング：若松 匠

外部パートナー：ナイスガイ

プレシードジャパン株式会社 (<https://preseedjapan.co.jp/>)

所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-16-7 北参道 DT ビル 3F

代表者：代表取締役 土山 裕和

設立：2014年01月

事業内容：ワイヤレスオーディオ機器、IoT 関連商品の製造・輸入販売、モバイルアクセサリーの輸入販売、
自社 EC サイトの運営

※1) プレシードジャパン調べ。2023年9月時点。アクティブノイズキャンセリング搭載完全ワイヤレスイヤホンのチャージングケースにおける三辺合計の寸法として

株式会社 Qoil (<https://www.qoil.co.jp/>)

The Switch Design Company ～コミュニケーションのスイッチをデザインして人を動かす会社です～

わたしたち Qoil は、「愛とユーモアと。」を合言葉に、ロジックとアイデア、そしてクリエイティブを化学反応させることで、ヒトやモノ、サービスなどが狙い通りに“動く”スイッチをデザインし、社会や企業のボトルネックを紐解き、戦略策定から企画立案・実行・改善まで並走し、ビジネスゴールへと導きます。オフラインからオンラインまで、双方の利点を活かし融合させた最適なコミュニケーションを強みとしています。

※株式会社デジタルガレージ マーケティングテクノロジーセグメント ビジネスデザインカンパニーを前身とし、会社分割により 2018 年 6 月に株式会社 DG マーケティングデザインとして新設、2021 年 4 月、株式会社 Qoil へ社名変更。2023 年 3 月、アイリッジ 100%子会社化。

株式会社アイリッジ (<https://iridge.jp/>)

株式会社アイリッジは、「Tech Tomorrow : テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る。」という理念のもと、スマートフォンアプリを活用した企業の OMO (Online Merges with Offline : オンラインとオフラインを統合したマーケティング活動) 支援を行っています。OMO 支援ではアプリの企画・開発における業界トップクラスの実績があり、手がけた OMO アプリの MAU (月間アクティブユーザー) は 8,000 万以上に達する業界のリーディングカンパニーです。さらに、リテールテック、フィンテック、MaaS、業務支援等、幅広い領域で DX を支援しています。

今年 4 月からは急激な時代の変化に迅速に対応するための次世代型アプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」も提供開始しました。「APPBOX」ではスクラッチ開発 (ゼロからの開発)、他社開発アプリへの機能追加、パッケージアプリ提供が可能で、パッケージアプリでは従来のアプリを捨てることなく、スクラッチ開発に移行しての機能刷新も可能です。

※記載されている各社の会社名、サービス名、商品名等は、各社の登録商標または商標です。